

平成27年度 地域密着型金融の取組結果について

平成28年5月

みらいは、人の数だけ。

 **大地みらい**信用金庫



I. 全体的な取組内容

1. コンサルティング機能の発揮

- 平成27年度は経営改善支援強化として昨年度に引き続き「経営サポート強化支援」に取り組み、経営改善・事業再生支援に関するお手伝いを実施しています。また、外部機関との連携による事業再生支援や創業・新事業支援の強化に積極的に取り組みました。

2. 地域の面的再生への積極的参画

- 地域のお客さまの価値創造に向けた取り組みとして、各種商談会・展示会の開催により地域のお客さまのビジネスチャンスを支援しました。また、北海道大学産学連携本部との連携による知見・ノウハウを活用しお客さまの専門的なご相談への対応も実施しています。
- 地域資源等の発信・価値創造に向けた取り組みとして、若き経営者および次代の経営者の支援・育成に主眼を置いた創新会（i3フォーラム）を開催し、次世代を担う人材との積極的な意見交換を実施しております。
- KONSEN魅力創造ネットワーク4年目の活動として、根室・釧路管内で魅力ある「食」を売り出すために、FOODEX JAPAN 2016に18企業・団体が出展しました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌は札幌支店の開設と合わせて、札幌圏の皆さまに当金庫の経営姿勢・特色等が具体的にわかりやすく伝わるような誌面としました。
- 創立100周年を記念し、根室・釧路管内市町村の外国語表記パンフレットや地域の歴史・文化を紹介するポケットガイドブック「根室金刀比羅神社」、「上武佐ハリストス正教会」を発刊し、根室・釧路地域の魅力あふれる歴史・文化・観光情報の発信を行っています。

4. 中長期的な取り組みに向けた経営の健全化

- 法令等遵守の徹底は引き続き重要課題として取り組み、自浄作用のある組織風土の醸成を図っています。
- 経営計画の進捗状況管理は、年度計画に対する各部署へのヒアリングを実施し、PDCAサイクルの実効性確保を行っています。
- 事務ミスへの改善対応として、堅確化を図った事務の定着確認を実施し、事務レベルの向上・平準化を図っています。
- リスク管理態勢では、継続的に危機管理訓練を実施し、不測の事態に備えた態勢整備を行っています。

みらいは、人の数だけ。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

1. コンサルティング機能の発揮

① 経営改善支援の強化、創業・新事業支援

取組事項	実施内容									
▶ 経営改善支援の強化	<ul style="list-style-type: none">・ 経営サポート強化支援先58先を選定し、経営改善支援へのモニタリング、コンサルティングを実施。・ 事業フロー図の作成による事業性評価を実施し、本部・営業店連携による訪問指導、助言を実施。									
▶ 外部機関との連携	<ul style="list-style-type: none">・ 中小企業診断協会と連携契約を締結し、専門家派遣紹介などにおいて連携。・ 地域密着型クラウドファンディング運営会社の株式会社アクトナウ様、起業家育成事業に多くの実績を有する株式会社北海道新事業創造プラザ様と三者間で連携協定を締結。多様な資金調達方法のニーズにお応えする体制を整備。									
▶ 創業・新事業支援 案件情報の収集・ハンズオン支援	<table><tbody><tr><td>・ 創業支援</td><td>22件</td><td>992百万円</td></tr><tr><td>・ 新事業支援</td><td>11件</td><td>661百万円</td></tr><tr><td>合計</td><td>33件</td><td>1,653百万円</td></tr></tbody></table>	・ 創業支援	22件	992百万円	・ 新事業支援	11件	661百万円	合計	33件	1,653百万円
・ 創業支援	22件	992百万円								
・ 新事業支援	11件	661百万円								
合計	33件	1,653百万円								
▶ 経営相談、事業承継・相続関係相談	<ul style="list-style-type: none">・ 相談受付 64件 90回 うち、経営相談42件53回、事業承継・相続関係相談22件37回									
▶ 専門家派遣制度・外部専門家および中小企業施策の活用	<ul style="list-style-type: none">・ ものづくり補助金申請18件受付、6件採択・ 食品現場改善指導事業2件採択									

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

1. コンサルティング機能の発揮

②商談会開催等 販路開拓の支援

取組事項	実施内容
<ul style="list-style-type: none">▶商談会・ビジネスフェアへの参加▶国内外への販路開拓支援▶ビジネスチャンスの創造	<ul style="list-style-type: none">・「光れ！道東いいものセレクション」商談会を中標津町で開催し、サプライヤー62社、バイヤー5社が参加（主催：株式会社東武、大地みらい信用金庫）。・札幌駅前地下歩行空間（チ・カ・ホ）に根室・釧路管内2市10町1村の自治体と「根室&釧路いいところフェア」を開催。・「水産物・食品輸出商談会 in 根室」に参加（主催：根室市）。・「食&農」こだわりの逸品展示会2015（静岡県沼津市プラザヴェルデ）に参加。・「いい仕事おこしフェア」（城南信用金庫主催）に取引先2社とともに参加。・東北海道6金庫合同「食の商談会2016 in 釧路」を開催。・「おいでよ釧路・根室！魅力大発見フェスタ」を開催（新千歳空港ビル）。・「FOODEX JAPAN2016」（千葉県・幕張メッセ）にKONSEN（根釧）魅力創造ネットワークとして18企業・団体が出展。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

1. コンサルティング機能の発揮

③産学連携による技術課題等への対応

取組事項	実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ▶北海道大学産学連携本部との連携協定に基づく知見・ノウハウの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市「地域創生計画」策定と連携し北大と「水産養殖事業」を導入し、農水省事業にて具体的協議を開始。 ・取引先よりの相談を受付し、バイオガス発生装置の継手改良に向けた共同研究事業が開始。

④顧客の実態に即した効果的な資金提供

取組事項	実施内容		
<ul style="list-style-type: none"> ▶多様な金融手法の活用による顧客ニーズへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・私募債 1件 ・公共工事完成工事未収金流動化 1件 		
<ul style="list-style-type: none"> ▶目利き力発揮による担保に依存しない融資の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・店長専決特別融資 目標 90件 300百万円 実績 111件 351百万円 		
<ul style="list-style-type: none"> ▶成長分野事業に対する積極的支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長分野融資 目標 30件 1,500百万円 実績 20件 1,356百万円実行 		
<ul style="list-style-type: none"> ▶一次産業への支援強化 	<table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・農業分野 目標 30件 500百万円 実績 30件 376百万円実行 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業分野 目標 20件 200百万円 実績 19件 123百万円実行 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業分野 目標 30件 500百万円 実績 30件 376百万円実行 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業分野 目標 20件 200百万円 実績 19件 123百万円実行
<ul style="list-style-type: none"> ・農業分野 目標 30件 500百万円 実績 30件 376百万円実行 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業分野 目標 20件 200百万円 実績 19件 123百万円実行 		

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

1. コンサルティング機能の発揮

⑤ コンサルティング機能強化に向けた人財育成

取組事項	実施内容
▶環境の変化に適応した能力醸成、専門人材の育成	<ul style="list-style-type: none">・当金庫職員のあるべき姿への成長に向けた道標として、「大地みらい信用金庫人財ロードマップ体系図」を制定し、事務や業務・成績だけでなく、人間性の向上やマネジメント発揮による強い人財基盤の構築に向けた指針を整備。・自己成長目標により、通信教育、検定資格、各部による派遣研修の実施、サポートを継続。
▶相談提案力・経営改善支援能力の育成・指導	<ul style="list-style-type: none">・専門家派遣時の同行訪問による営業担当者の経営相談能力の向上を図るため、「M&Aによる事業承継」研修等を開催。・営業改革本部による営業担当者スキルアップ研修を実施。
▶専門的知識や能力を持った人材活用	<ul style="list-style-type: none">・個人リテール分野の推進強化に向けて、先進信用金庫（埼玉縣信用金庫、広島信用金庫、福岡ひびき信用金庫、高鍋信用金庫）の視察を実施。・地域のお客さまに対する提案力強化・質的向上を目的として、信金中央金庫（中小企業支援部）へ職員を派遣（2年間の長期派遣研修を実施中）。・証券会社との連携による預かり資産（投資信託等）を開催し、個人のお客さまへのライフプラン支援体制の強化に向け取り組む。
▶金庫内研修、外部研修の活用による計画的な人財育成の実施	<ul style="list-style-type: none">・研修DVDの活用などにより、各部にて研修を継続的に実施し、若手担当者、役席者の育成に注力。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

2. 地域の面的再生への積極的な参画

①地域経済の活性化に向けた取り組み

取組事項	実施内容
▶次世代を担う人材との積極的な意見交換の実施・新たな収集方法の検討	若き経営者および次代の経営者の支援・育成に主眼を置いた創新会（i3フォーラム）を開催。 ・第3回創新会開催（講師：星野リゾート代表 星野佳路氏）（釧路市）（2月）
▶お客様の声の吸収	今後の商品開発等に活かすため、札幌で開催された「さっぽろシティライフサマーパーティ2015」にブース出展し、女性（特に20～40代の独身女性）をターゲットにしたアンケートによるマーケティング調査を実施。
▶地域資源等の発信に向けた地域内連携による面的取り組みの推進	・道東地域での広域観光資源発掘、情報発信に向けて関係団体と協議を開始。 ・JTBと連携しエコツーリズム啓蒙事業を実施。
▶他信用金庫、金融機関との連携	・個人のお客さまへのライフプラン支援態勢強化に向けて、先進信用金庫（埼玉縣信用金庫、広島信用金庫、福岡ひびき信用金庫、高鍋信用金庫）への視察を実施。 ・道東6信用金庫合同商談会を開催（バイヤー24社、サプライヤー52社参加） ・不動産ビジネスマッチング業務および資産運用業務推進態勢の確立に向けて、亀有信用金庫（東京都）へ視察を実施。 ・信託契約代理業務の委託契約締結に向けて、株式会社りそな銀行と契約の合意に至る（平成28年度より同業務の取扱を札幌支店で開始）。
▶包括連携協定等に基づく事業の実施	・釧路総合振興局・根室振興局と「根室&釧路いいところフェア」開催。根室振興局の後援により中標津町にて商談会を実施。新千歳空港での観光情報発信事業においても連携。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

2. 地域の面的再生への積極的な参画

②地域の将来を担う人材の育成・企業力向上支援

取組事項	実施内容
➤ 一般財団法人大地みらい基金の助成活用による中小企業大学校派遣	・ 中小企業大学校派遣実績 3社3回実施。
➤ 北海道大学との産学連携事業活用 上級教育プログラムを実施	・ 北海道大学大学院情報科学研究科に浜中町立散布中学校9名が参加。 ・ 標茶高校にて、観光に関する北海道大学出前事業を実施。
➤ 札幌医科大学との包括連携協定による連携事業の開催	・ 札幌医科大学との連携協定事業「第3回メディカル・カフェ with 大地みらい信用金庫」を本店にて開催。 テーマ「高血圧に勝つ（喝）！～健康寿命を伸ばすためには～」 講演者：島本和明 氏(札幌医科大学学長)

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

2. 地域の面的再生への積極的な参画

③地域貢献に向けた取り組み

取組事項	実施内容
▶ 創立100周年に向けた事業の検討	<ul style="list-style-type: none">・ 地域貢献事業について取りまとめ、地域への貢献度について優先順位を決め、実施可能性について検討継続。・ 札幌支店開店に連携し、釧路・根室管内全自治体による「根室&釧路いいところフェア」を札幌地下歩行空間（チ・カ・ホ）にて開催。・ 札幌雪まつり期間の新千歳空港内での自治体との連携による観光情報発信事業を企画。
▶ 地方自治体との関係・連携強化	<ul style="list-style-type: none">・ 地方創生総合戦略策定支援のため、根室市へ職員派遣（9月で派遣終了）。管内各自治体の専門委員会や検討委員会に参画要請を受け、地方創生支援に積極的に対応。・ 別海町にて産業連関表作成へ共同事業を実施。・ 釧路町と地方創生に関する連携協定締結。
▶ 地域活性化のためのイベント・展示会等の開催	<ul style="list-style-type: none">・ 直木賞作家の桜木紫乃氏トークショーや、札幌医科大学との連携事業「メディカルカフェ」など、地域活動化へのロビー開放による各種イベントの開催。
▶ 地域社会貢献活動の継続	<ul style="list-style-type: none">・ 各種地域行事への参加・ 野球大会、くしろ霧フェスティバル、ネムロ・ホット・ジャズ・クラブ創立50周年コンサート、マラソン大会、しれとこ羅臼こんぶフェスタ、落石計画、朝市、講演会、ご当地ブランドフェスティバル、サッカー少年団大会、写真道展、児童生徒音楽大会等、各種イベントへの協力・支援を行う。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

当金庫の経営内容・取り組み等に関する情報発信

取組事項	実施内容
▶ディスクロージャー誌の充実	<ul style="list-style-type: none">・ディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌は札幌支店の開設を念頭に、札幌圏の会員・会員外顧客双方に当金庫の経営姿勢・特色等が具体的にわかりやすく伝わるような誌面構成とした。・札幌支店の開設にあたり、テレビ、ラジオ、新聞や札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）を利用したイベント開催など、メディアミックスによる広報を展開し、認知度向上に向けた広報活動を実施。・札幌支店、プレミアムサポートセンター、地域みらい創造センター札幌オフィス（COCORO）の設置にあたり、お客さまへの周知を目的とした紹介パンフレットを作成し、情報発信を実施。読み手に具体的なイメージがわかりやすく伝わるよう、写真を充実（役員顔写真の新規掲載など）。・インターネットからの視認性・操作性を改善するため、当金庫ホームページ上に電子ブック形式のファイルを掲載。・札幌支店の開設を踏まえたミニディスクロージャー誌を作成。
▶地域密着型金融の取り組みに関する情報発信	<ul style="list-style-type: none">・ホームページにて平成26年度地域密着型金融による取り組み結果を公開。
▶地域経済情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・経済概況・ビジネスレポートの発行（年4回） ビジネスレポートはホームページ上にも掲載し、情報発信を実施。

みらいは、人の数だけ。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

4. 中長期的な取り組みに向けた経営の健全化

①法令等遵守の徹底、経営管理・ガバナンス

取組事項	実施内容
▶法令等遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none">・コンプライアンスプログラムに基づき、理事長はじめ役員、本部各部署より、会議・研修・会議等あらゆる機会を通じて、法令遵守と社会規範の徹底を啓蒙。・お客さまからの苦情等、申出に至った根本的な原因を分析して、今後の営業体制の改善に取り入れる等、経営資源化を図る。・反社会的勢力遮断、特殊詐欺未然防止はCSR（企業の社会的責任）であることを自覚し、取り組むよう周知徹底し、反社会的勢力との取引遮断の入口・中間・出口管理の徹底。特殊詐欺被害の未然防止対策のため、ATM限度額の引下げなどの防止策を実施。
▶経営管理・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none">・理事長、専務理事にて年度計画に対する各部ヒアリングおよびPDCAサイクルの状況把握を実施。・営業店への臨店を通して、地域密着型金融に関する理解度の確認、地域の実情に即した店質を活かした推進および職員に対する啓蒙について指導を継続。・営業改革本部との連携のうえ、臨店を2回実施。監査部署との情報共有による指導項目の定着度の確認。・臨店による指導を実施のほか、店長会議などで取り組みの進捗度について共有。・第99期通常総代会を開催。・「総代会の機能向上策に関する業界申し合わせ」および総代選任規程に則って総代の改選を実施。・第3回創新会（i3フォーラム）を開催。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

4. 中長期的な取り組みに向けた経営の健全化

②リスク管理態勢

取組事項	実施内容
▶事務ミスのデータの要因分析、改善対応	<ul style="list-style-type: none">・堅確化を図った定着確認テスト（4月）、お客さま・営業店からのFAQ集、事務ミス事例集を更新。反社会的勢力確認徹底のための新規伝票作成。・事務手続き能力向上のための啓蒙レポート「つなぐ力」を5回発信し、事務手続きの基本、お客さまに向き合う姿勢を周知。・規程・要領の見える化ツールの一部修正（4月）、事務取扱要領変更時の業務フロー表3本追加。
▶信用リスク管理の高度化	<ul style="list-style-type: none">・ストレステスト、セクター分析による経営への影響度分析（シナリオ、分析対象業種）の精度向上に向けて、営業店へのフィードバック方法等の見直しに着手。・簡易事業性評価シートの作成による信用リスク管理の向上に着手。
▶オペリスクの評価、モニタリング、コントロール等にむけた取り組み	<ul style="list-style-type: none">・お客さま、営業店からの質疑応答内容の経営資源化（FAQ集の随時更新）。・事務ミス等発生した事象に基づき発生店以外のヒアリング強化、事例更改等の経営資源化。
▶業務の効率化による生産性の向上	<ul style="list-style-type: none">・新設店舗において、お客さまの利便性向上を目的とした最新機器の導入による事務効率化を実施。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

4. 中長期的な取り組みに向けた経営の健全化

②リスク管理態勢

取組事項	実施内容
▶自己資本の十分性、充実度の把握と管理	<ul style="list-style-type: none">・資本配賦におけるリスクリミット設定。・有価証券保有限度額の変更およびオペレーショナルリスク量の精度向上のため算定手法を一部見直し再算定実施。・マイナス金利導入の影響を考慮し、超長期国債の保有限度額の変更およびリスク量計測の再算定実施。・信用リスク量は月次、市場リスクは週次、金利リスク量は四半期ごとにリスク量計測し、自己資本への影響度等モニタリングを継続。・有価証券ポートフォリオの変化や最大予想損失額（VaR）によるリスク計測では捉えきれない局面変化、テイルリスクの損失計測など、自己資本の十分性に係るリスクの顕在化への備えとしてストレステストを実施。
▶統合的リスク管理態勢の確立	<ul style="list-style-type: none">・具体的かつ実務的なリスクコントロールの機動的な実践を目的に、実務者レベルでの協議を毎週実施。年間で54回の会議を実施し、資本配賦におけるリスクリミットの算定結果やストレステストによる自己資本の十分性検証など、経営への影響度について常務会へ上程。
▶業務継続体制の確立	<ul style="list-style-type: none">・内国為替訓練を実施し、当金庫の危機管理態勢の見直し（規程・要領等改正）を実施（9月）。・「災害・火災・風水害等」を想定した営業停止危機に対する訓練を実施し、不測の事態発生時の対応および平常時の心構え等を確認（2月）。